

令和7年度 事業報告

令和7年度は、新たな契約方法への移行も順調に進み、会員減少にも歯止めの兆しが見えてきました。また、女性会員の割合が増加し60歳代の入会者も増加傾向にあります。しかし、会員の平均年齢は、74.8歳となり安全就業対策は最重要課題となっています。企業の求人と求職者とのミスマッチ等により人手不足が深刻化する中、年齢にかかわらず働き続けることができるシルバー人材センターに対する期待は大きく、その役割をはたすよう尽力しました。

令和7年度の事業実績につきましては、年度末会員数は673人で前年度に比べ10人の減少となりました。総合契約金額は、352,901,329円で前年度に比べ2,545,526円、0.73%の増額となり、総合就業率は74.89%で前年度に比べ0.66%減少しました。事業別の契約金額では、請負・委任等事業は317,778,672円で前年度比3,639,167円の減額、派遣事業は35,122,657円で前年度比6,184,693円増加しました。総合受注件数では、2,261件で前年度に比べ183件の減、内訳として、請負事業が前年度より188件減少し、派遣事業は前年度より5件増加となりました。

以下、令和7年度に取り組んだ主要事業としては、

1 普及啓発・就業開拓事業

- (1) 三島市の広報紙「広報みしま」に10月、3月に会員募集、10月にシルバークエストフェスティバルの開催を掲載していただきました。
- (2) 市内全域に入会案内及び仕事募集チラシを毎月新聞折込し、三島商工会議所会員向け冊子BE.MEに仕事募集広告を毎月掲載、及びコミュニティFMボイスキューで毎月CMを行い、就業開拓や会員拡大に努めました。
- (3) 三島市主催のイベントに参加し役職員が啓発用チラシやクリアファイル・ティッシュペーパー等啓発グッズを配布しました。
- (4) 三島市内に在住の60歳以上の方を対象とした入会説明会を毎月第2・第4水曜日に開催し、ハローワーク三島で出張入会説明会を10月、1月に開催し会員拡大に尽力しました。
- (5) 三島市生涯学習センターにて11月に開催された、三島市主催の「シニア向け仕事相談会」に参加しました。
- (6) しずおかジョブステーションと「就業相談会」を6月、8月、10月、12月、2月にハローワーク三島で開催しました。
- (7) ハローワーク三島主催の「シニア仕事相談会」に9月、2月に参加しました。
- (8) 三島市シルバー人材センターフェスティバルとして「Gジェネフェスタ2025」を昨年に続き10月18日に開催、約500名が来場し幅広い世代の市民との交流を通じ、シルバー人材センターの社会的意義や活動内容をPRしました。
- (9) 順天堂大学のゲストスピーカーとして12月8日に招かれ学生たちにシルバー人材センターの概要説明とPRを行いました。

2 会員サービスと技能向上の推進

- (1) 発注者の期待に沿えるよう、また、会員のスキルアップを図るため、デジタル・

接遇マナー・高齢者活躍人材確保育成事業等の講習会を実施しました。

- (2) インターネットを利用した会員専用サービス【Smile to Smile】の利用会員が78%を超え、センターと会員の連携を強化しました。

3 安全・適正就業の強化・意識改革

- (1) 臨時的かつ短期的または軽易な業務（月 10 日以内、週 20 時間超えない）の徹底及び、不適切な請負などの就業の適正化に努めました。
- (2) 安全委員会を年 6 回開催し、5 月、7 月、8 月に安全パトロールを実施するとともに、ヘルメット等の貸与などの安全対策を行いました。
- (3) 安全就業のための「熱中症予防講習会」を 6 月に実施しました。
- (4) 全国シルバー人材センター事業協会の安全就業指導委員会議オンライン研修に安全就業推進員が参加、及び静岡県シルバー人材センター連合会の安全適正研修会に安全委員が参加しました。

4 福祉・家事援助事業の推進

- (1) 介護保険制度の介護予防・日常生活支援総合事業については、前年度同様に三島市と委託契約を締結し、訪問型サービス・活動Bの事業者として実施しました。令和 7 年度の実績は、受注件数 38 件、契約金額 161,392 円でした。
- (2) 旧企画提案事業である「ミニヘルパー事業」では、通院介助、家庭内の清掃等、「子育て支援事業」では、市立保育園等の植木剪定、除草等を自前財源で引き続き実施しました。

5 シルバー派遣事業の推進

- (1) 会員の就業機会拡大につなげるため、前年度に引き続き、多様な働き方が可能な派遣事業を推進しました。令和 7 年度の実績は、受注件数 46 件、契約金額 35,122,657 円、就業実人員 49 人、就業延人員 6,164 人日で、前年度に比べ受注件数は 5 件増加、契約金額は 6,184,693 円増加、就業実人員は 10 人増加、就業延人員は 1,335 人日増加しました。

6 独自事業

- (1) 補習教室（中・小学生）、ことば相談、英会話教室、絵画教室、健康体操教室、着付け教室を実施し、ホワイトカラー等の就業拡大を行いました。

7 三島市高齢者いきがいセンターの指定管理

- (1) 令和 6 年度から新たに 5 年間の指定管理を受注し、利用者の拡大に努めました。

8 事業運営の健全化

- (1) シルバー人材センターへの支援要請として、11 月 19 日に理事長、副理事長及び事務局長が三島市長と面談しました。三島市からシルバー人材センターへの補助金と公共事業発注の確保及び派遣事業への理解をお願いしました。